天

湖東・湖北

毎月第３日曜日発行

2026 1月号 Vol.194

毎日ナビ

毎日新聞湖北ブロック会　協賛
湖北ブロック会事務局（毎日新聞彦根城東販売所）
滋賀県彦根市地蔵町 120-105　TEL.0749-26-9673
制作 / オフィスいしやま（毎日新聞大津販売）

湖東

彦根

「たすけ愛はえみ」発足

住民が買い物や通院支援

彦根市の稲枝西小学校区で、住民によるボランティアグループ「たすけ愛はえみ」（堂ケ崎重実代表）が発足した＝**写真**。学区内の高齢者らを有償で手助けする。当面は送迎サービス（通院、買い物）が中心。ゴミ出しなど困りごと支援も検討中という。

送迎エリアは彦根市、豊郷町、東近江市能登川地区で、時間帯は午前9時～午後4時。片道500円を支払う。利用は①2週間前までに地元の自治会長、民生委員、コーディネーターらに相談②コーディネーターが内容を確認、時間を調整③手配を受けたサポーターが訪問――といった流れだ。困りごとに対応できない場合は市社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの専門機関につなぐ。問い合わせは堂ケ崎代表（090・9097・6800）。ボランティアスタッフも募集している。

【彦根通信部・伊藤信司】

彦根

はとっぴーだいすき！

平和堂が改めてキャラＰＲ

平和堂（本社・彦根市西今町）は「はとっぴーだいすき！プロジェクト」を開始した。平和堂のイメージキャラクター「はとっぴー」は2013年のデビュー以降、イベント参加、チラシなどでＰＲ活動に貢献してきた。

ただアンケートの結果、「思い入れがない」「よく知らない」との答えもあった。これを受け、ＳＮＳ（交流サイト）で話題のイラストレーター、かわのまきこさんに新たな作画を依頼。動画や漫画などのデジタルコンテンツにして、若年層との接点を増やすことにした。

企画第1弾として2025年12月から、通信カラオケ「ＪＯＹＳＯＵＮＤ」で配信される平和堂イメージソング「かけっことびっこ」に、かわのさんの手がけたはとっぴーが登場した＝**写真**。この動画は平和堂公式ＳＮＳ（ユーチューブ、インスタグラム、Ｘ）でも楽しむことができる。

【彦根通信部・伊藤信司】

湖北

長浜

「はまかるエンゲキヴ」劇上演

アルファにまつわるエトセトラ

40歳以下の若手アーティストが所属する「長浜文化芸術ユース会議」の演劇部門「はまかるエンゲキヴ」は24、25日、長浜市大島町の長浜文化芸術会館で、オリジナル作品「アルファにまつわるエトセトラ」を上演する＝**写真**。

うだつの上がらないピザ屋のバイト『紀之』は、日々、周囲の人間に振り回されていた。遅刻魔の先輩、騒がしい常連客。憤慨する紀之だったが、ある日ピザ屋に訪ねてきた男が運命を大きく変える…？！というストーリー。

主役の大谷佑真さん（26）は「いろんな場面が出てきて、舞台がめまぐるしく変わっていく。紀之がどうなるか、楽しみにして」と話した。

24日午後7時、25日午後1時と午後5時。一般2500円、大学生以下1500円（当日券500円増）。未就学児は無料（25日午後1時のみ入場可）。アーカイブ配信チケット1000円。

【長浜通信部・長谷川隆広】

長浜

懐かしい鉄道写真展

辻良樹さんが近江鉄道など

鉄道写真展「辻良樹写真展～少し懐かしい近江鉄道とボンネット特急しらさぎ・加越～」が12月28日まで長浜鉄道スクエアで開かれた。

湖東を中心に中山道、御代参街道に沿って120年以上走り続ける近江鉄道。その歴史を鉄道ライター・辻さんの写真でひもといた。

近江鉄道の歴史などを紹介した写真展

近江鉄道で平成初期まで運用されていた自社オリジナル電車1形（赤電復元色）や大正時代製造のＥＤ31形が牽引する工事列車などの貴重な写真に加え、北陸本線を走った485系ボンネット型特急「しらさぎ」「加越」の走行シーンの写真も並んだ。

同時開催の企画展「湖南鉄道から八日市鉄道　近江鉄道の名所案内」では、明治から大正にかけて県内を走った私鉄各社やそれらを吸収合併した近江鉄道が作成した観光リーフレットなどを展示し、当時の集客施策について紹介した。

【長浜通信部・長谷川隆広】

地